

病害虫防除技術情報第6号

平成26年6月30日

三重県病害虫防除所

チャノコカクモンハマキの発生が多くなっています。
摘採終了後、地域の摘採状況に注意して防除を行いましょう。

1. 対象作物：チャ
2. 対象病害虫名：チャノコカクモンハマキ
3. 発生量：多い
4. 発生状況
 - 1) ここ3年ほど発生量が多くなっています。特に夏秋季の高温による茶芽の生育が旺盛なことが原因の一つと思われます。
 - 2) 県予察圃フェロモントラップ(亀山市:5月第5半旬～6月第5半旬)では、第1世代成虫誘殺数616.7頭(平年260.1頭)と多くなっています。また、誘殺ピークは6月第4半旬(平年6月第5半旬)と早くなっています。(図)
 - 3) 一般圃場(6月)におけるハマキムシ類の発生は、平年より多くなっています。

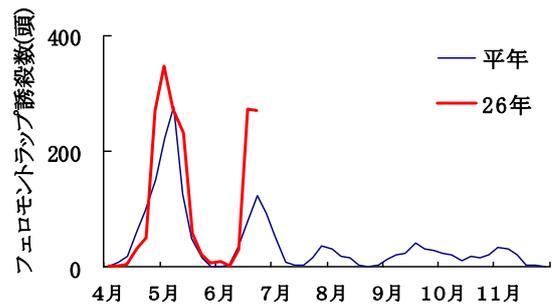


図 チャノコカクモンハマキ発生消長
(調査地点: 亀山市・茶業研究室)

6. 防除上の注意事項
 - 1) 年間4～5世代発生します。若齢幼虫を対象に防除しましょう。今年の第2世代幼虫の孵化最盛期は例年より半旬早く、有効積算温度による発生消長予測式(6月27日計算)では、防除適期は6月第6半旬～7月第3半旬頃と予想されます。
 - 2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
 - 3) 地域の二番茶摘採終了後、できるだけ早く防除を行ってください。
 - 4) 抵抗性の発達する可能性があるため、同一系統の薬剤の連用は避けましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。